



園芸
ポイント

高品質なスナップエンドウの
収穫を目指しましょう



男鹿地区営農センター 石川 梓未

●秋田では春播き、夏播き、越冬の3つの作型があります。

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
春播き	○	○		■	■	■				
夏播き					○	○		■	■	■
越冬			■	■	■				○	○

○ 播種、定植時期 ■ 収穫時期

スナップエンドウ栽培のポイント

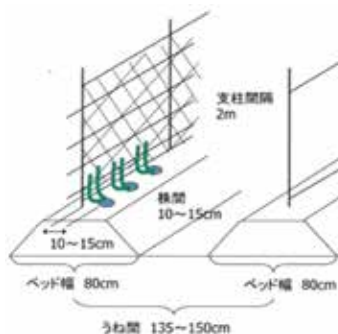
スナップエンドウは15~20℃の気温を好みます。比較的寒さに強く暑さに弱い作物で、気温が25℃以上になると生育が停滞します。気温が高い日に定植すると根の活着が遅れ、収量にも影響が出るため注意が必要です。

また、連作を極度に嫌うため1回作付けした圃場は5年間使わないようにしてください。

L字仕立てについて

定植する際はL字仕立てにすることをおすすめします。

- ①マルチの中央から10~15cm離して定植。
- ②支柱をマルチの中央に差し込みます。
- ③樹が伸び次第、誘引します。



L字仕立ての利点

- 脇芽の早期除去。
- 芽かき作業の負担を減らすことができる。
- 樹の負担を減らし、収量増加に繋がる。

これから取り組むことができる作型

●夏播きー秋どり

数少ない生産地のため高単価が見込めます。

ハウス内での栽培となり、生育初期は高温期に当たるため温度管理に気を付けてください。対策としては十分な灌水、白い遮光ネットの活用を行うようにします。シルバーや黒の遮光ネットは軟弱徒長の要因になりますので注意してください。病害虫の被害が特に多い時期のため、こまめな防除をお願いします。

●越冬ー初夏どり

花き、夏野菜の後作におすすめです。

無加温ハウスに黒マルチを張り、11月下旬から12月上旬に直播をします。順調にいくと5~10℃で7日から14日かけて発芽し、1月下旬から2月下旬にかけてゆつくりと成長していきます。

5℃以下の環境におかれると生育が停滞するため、畝の上からトンネルや保温材をかけるなどといった寒さ対策を行いましょう。特にハウスの端側は冷気が入りやすいため、注意が必要です。

※上記の作型表をご参考ください。